



# 進路だより



平成25年9月発行 第3号  
栃木県立足利中央特別支援学校 進路指導部

## 移行支援連携協議会

8月7日に移行支援連携協議会があり、進路先の事業所や居住地域の関係機関の方々に来校していただきました。各事業所の方からは、卒業生の様子や課題を話していただきました。関係機関の方からは、雇用率が上がったことや10月には近郊地域での合同面接会が行われること、就労に向けて様々な関係機関がサポートしてくれていることや卒業後の就労支援のあり方について話をしていただきました。就労移行支援を行っている福祉施設の方からは、学習指導、一般常識、対人関係を習得し、一人一人に合った支援を行っていたり、生産活動を行いながら基礎体力・理解力・作業能力・協調性そして社会規律など、様々な能力向上を図ったりして、一般就労に向けた取り組みを行っている様子を話していただきました。

教員からの「卒業時に何を身につけておくべきか。」という質問に対しては、遅刻や無断欠席をしないなどの生活態度や働く意欲、どこでも強い気持ちでいられること、自分の弱さも認められて頼りながらも頑張ること、社会のルールを学んでこと、年齢差のある誰とでもコミュニケーションをとれるようにしておくこと、心も体も体力をつけておくこと、アピールするための資格などを取得して自信につながるものを持っておくことよいなどと答えていただきました。

学校として高等部卒業後を見据えて、これからも児童生徒が自己実現できるようにしっかりと指導を行っていきたいと思いました。



### 参加していただいた事業所や福祉・労働行政関係機関

株式会社 足利フラワーリゾート	天笠段ボール株式会社
足利公共職業安定所	佐野公共職業安定所
両毛圏域障害者就業生活支援センター	栃木県立県南産業技術専科
佐野障がい者相談支援センターみどり	足利市相談支援センター
社会福祉法人足利むつみ会セルフ絆	社会福祉法人愛光園
社会福祉法人とちのみ会和泉	

## 職員の職場体験・施設体験

在校生が現場実習でお世話になったり、卒業生が働いていたりしている作業所や一般企業等で、夏季休業中に教員が職場研修を行いました。その中で感じたこと、事業所や施設の方に教えていただいたことをお伝えしたいと思います。

### ●施設での体験を通して●

- ・単純作業を続けられる気力・集中力や暑さに負けないで作業ができる忍耐力・体力等が必要である。離席しないことや静かに作業することが望まれているということが分かった。
- ・自分の仕事が社会や誰かの役に立っていると感ずることができることとコミュニケーション力が重要である。作業が終わったときの報告、分からないときの相談や確認、助けが必要となごきの依頼など、同僚とつながりを持ちながら仕事をするのが、正確に作業を進める上でとても重要だと感じた。

### ●企業での体験を通して●

- ・正確さの他に、ある程度のスピードも要求されていた。また、対物中心作業だが、テープに間かなければならないことが多く、人との関わり方を身につけておくことが働く上で欠かせないと思った。
- ・校内での指導において、巧緻性や持続力、集中力といった面に指導の重きが置かれがちであるが、衛生面について小学部段階から意識を高めていく配慮が求められると感じた。
- ・長時間同じ作業を集中してやり続けることは難しいことを改めて実感した。



# 2学期 進路に関する行事



## ◆中学部

期 日	行事名	対象等
10/1(火)	職場見学(こころみ学園あかまつ作業所)	2年生
10/21(月)~25(金)	校内実習	全学年
10/21(月)~25(金)	現場実習	
12/10(火)~12(木)	就業体験学習(社会就労センターきたざと)	3年生 卒業後福祉サービス利用希望者

## ◆高等部1年生

期 日	行事名	対象等
9・10・11・12月	福祉体験学習	流通コース
9/11(水)	職場見学	産業コース・総合コース
9/30(月)~10/18(金)	校内実習	全コース
10月	就業体験学習	流通コース
12/10(火)	産業現場等における実習報告会	全コース

## ◆高等部2年

期 日	行事名	対象等
9/4(水)	職場見学	全コース
9月	職業ガイダンス	一般就労希望者
9・10・11・12月	就業体験学習・福祉施設実習	流通コース
9月中	福祉施設体験	産業コース・総合コース
9/30(月)~10/18(金)	産業現場等における実習	全コース
10月中	就業体験学習	産業コース
12/10(火)	産業現場等における実習報告会	全コース

## ◆高等部3年

期 日	行事名	対象等
9・10・11・12月	校外作業学習	流通コース
9/30(月)~10/18(金)	産業現場等における実習	全コース
11/21(月)「足利」 22(火)「佐野」	後期福祉支援相談会	福祉サービス利用希望者
12/10(火)	産業現場等における実習報告会	全コース

## ◆保護者

期 日	行事名	対象等
10/22(火)「足利」 25(金)「佐野」	保護者施設見学会	
11/21(月)「足利」 22(火)「佐野」	後期福祉支援相談会	高3 福祉サービス利用希望者
12/10(火)	産業現場等における現場実習報告会	
12/20(木)	進路講演会	卒業生の保護者による講演

※関係機関の都合で期日の変更の場合もあります。



## 先進企業視察研修について

8月22日:三井物産ビジネスパートナーズ

三井物産の特例子会社。商社なので、関係機関へのダイレクトメールのやりとりや名刺の作成、宅配便の準備など仕事はたくさんありました。説明をしてくださったのは知的な障害のある今年採用の社員でした。今までは聴覚障害、身体障害者の採用が中心でしたが、今後採用の枠を拡大していくことでした。

8月26日:花王ピオニー株式会社

花王の特例子会社。ライン作業で、試供品やおまけ商品の箱詰めを行っていました。障害は中度の方も多く、作業の工程などに配慮が見られましたが、ほとんどの人が一般企業で働いた経験があったり、施設で訓練を受けたりしているということで、落ち着いて作業に取り組んでいるという印象でした。しかもラインの速さもそこそこあり、生産効率を上げようという意識も従業員にはあるということも感じました。

8月28日:プリプレス・トッパン株式会社

東京都と板橋区、凸版印刷が共同出資で立ち上げた特例子会社。やはり聴覚障害、身体障害が中心でしたが、印刷物の取り込みという作業があり、知的障害者を雇い始めたところでした。トッパンの原版から電子化をする作業などもあり、これから雇用も広がりそうな感じでした。

以上3つの企業に共通していることは、基本的な生活習慣の確立、挨拶・返事・質問などのコミュニケーション能力、まじめに取り組む姿勢、継続できる力などが求められていることでした。仕事自体は企業で働きながら覚えらるが、上記のことは学生の時に学んできてほしいと言われました。家庭の支援も大切だということも言われてきました。自立に向けて家庭と学校で協力していくことの大切さを再確認しました。